



立川小学校 2009.10 発行 月酸一河 和志太夫 馬口山 馬戸橋村



今問題になっている外来生物ウチダザリガニの増加。鹿追町の然別湖は北海道天然記念物に指定されているオシロコマカたぐささんいます。そのオシロコマカや他の生き物がウチダザリガニによってその地域の生態バランスを崩してしまふことがあります。そこで、ほくたち立川小学校児童は環境を守るためウチダザリガニ駆除活動に参加させていただきました。

七月下旬立川小学校では然別湖に行きました。然別湖ではオシロコマカの産卵場をあらわしてしまふウチダザリガニがいます。そこで、ほくたちはウチダザリガニを駆除して行きました。なぜ殺してしまふのか?と思う人もいます。日本にははいはいけない生物なのです。昔は日本に食用として輸入してきたザリガニで「外来生物」と言われる一種なのです。この外来生物がその外で日本にいる生物を食へてしまふなどの悪影響を及ぼしていると考えられています。

世川小学校での駆除のやり方は、ウチダザリガニを釣ります。まずおにぎをついてその先にスルメイカをつけてお成です。今回教えてくださったネイチャーセンターの市川太郎さんは、鳥に見つからないために岩影に隠すように教えていただきました。岩影をさがしました。三十分ほどで二十匹以上釣れました。この短時間でこんなに釣れるのは、やはりウチダザリガニがたぐささんいるからです。その様、殺してもかわいそうなので中でおいしくいたたてて食べていただきました。みんなは喜んでいました。

立川小学校は七月上旬、パドハウス作成に取り組みしました。フエサドフレンドの新つさん高橋さん指導者となり、作成しました。くぎやトンカチなど色々な道具を使い、トンカチや王冠、松ぼっくりなど見近にある物もかき取りつけました。トイモにぎやかパドハウスが作られました。



パドハウスは、パドハウスの木、神社などに設置していただきます。これを機にパドハウスが多くの人に作られ鳥が暮らしやすい環境になってほしいです。

木を守る小さな家

パドハウスは、パドハウスの木、神社などに設置していただきます。これを機にパドハウスが多くの人に作られ鳥が暮らしやすい環境になってほしいです。

ききれない? 然別川

八月下旬に川の観察学習に行きました。一つ目は、PHテストです。PHは酸性かアルカリ性かを示します。D.Oは、水中の酸素の量を測ります。アンモニアは、少なければいいです。アンモニアは、リン酸などと一緒に植物のエサで有機物が分解された濃度がわかれます。然別川のPHテストの結果は、表のとおりです。

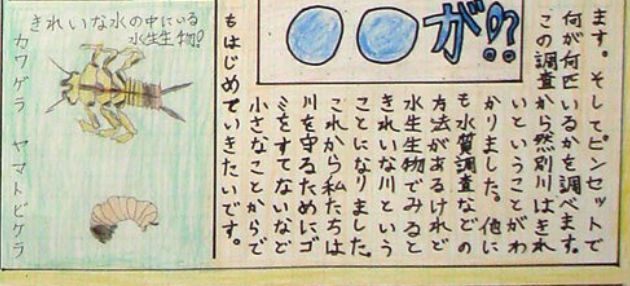
Table with 2 columns: Test Name, Result. PH: 中低生, D.O: 多い, アンモニア: 少ない

水の中の生き物も酸素がないと、生きていけません。PHは、中性がちょうどいいです。D.Oは、多いと有機物が分解され、肥料が水に溶けています。アンモニアは、少なければいいです。アンモニアは、リン酸などと一緒に植物のエサで有機物が分解された濃度がわかれます。然別川のPHテストの結果は、表のとおりです。

川太郎さんにからのむき方を教えてもらいました。よくたべてみる事にしました。ウチダザリガニは食べました。おいしかったです。みんな釣ったの引きました。みんな釣ったの引きました。みんな釣ったの引きました。

私たち立川小学校の児童は、然別川で川の自然観察学習をしました。まず最初は、調べたのは水生生物についてです。水生生物によって、その川がきれいかわかってくる。カワゲラ、ヒラタカゲロウなどがたくさんいる川はきれいな水です。きれいな川の水には、ミズカマキリ、ミズシジミなどがいます。今回は石をひっくりかえして、石の裏にいる水生生物を探しました。石をひっくりかえすと、石の裏には水生生物がバケツの中におちてそれを何回もくりかえして水生生物をとりだします。

石の裏に... が?



最近私たちが住んでいる地球のせいでは地球全体が困っている。車から出るCO2がとて多い。木を無断に切り、ゴミを出しすぎたりして環境もとても悪い。そんなことをしていると、地球温暖化が始まってしまう。地球温暖化が始まると、地球の気温が高くなり、海面上昇、自然災害が増える。地球温暖化を防ぐためには、CO2の削減が必要です。私たちができることは、省エネ、リサイクル、ゴミの分別などです。地球を大切にしよう。

のプランから エネルギー!

鹿追町の環境保全センターでは、エネルギー自給率を上げることを目指してバイオガスをプラントという取り組みをしています。バイオガスプラントは牛糞から出るアンモニアとエタノールを原料として、バイオガスとメタンを生成します。バイオガスは家庭用のガスとして利用でき、メタンは発電に使われます。エネルギー自給率を上げることで、環境にも優しい社会を作ることができます。

この新聞を見ても、自然のことに気づいてもらいたい。この新聞を見ても、自然のことに気づいてもらいたい。この新聞を見ても、自然のことに気づいてもらいたい。

編集後記